

シリーズ2 ～ 透析生活の知恵 ～

Q-透析中、血圧が下がって十分な除水ができないのですが、
血圧はどのくらいが理想的なのでしょう

A-年齢にもよりますが、いつ測っても最高が150以下、最低が90以下に
保ちたいものです。

血圧が下がることについては、

- ① 体重増加が多く、1時間当たりの除水量が1000mlを超えていませんか？この場合、透析に無理があります。体重増加を控えめに・・・。
- ② 普段から血圧が低めではないですか？
透析中に血圧が下がらないように持続点滴、注射や薬剤注入がある場合があります。
- ③ 目標体重が低すぎませんか？
心胸比が小さいようなら太ってきたので医師に相談して目標体重を少し上げてもらいましょう。
- ④ 著しい貧血がありませんか？
ヘマトクリット値が低いようなら場合によっては輸血が必要です。
- ⑤ 降圧剤を透析日に内服していませんか？
医師に相談して透析日には降圧剤の内服を減らすか休んでみるのも方法
です。(メデイカ出版「透析生活を支えるQ&A」より)

透析患者の送迎維持が限界に

日本透析医会調査で深刻な実態が明らかに

透析施設による患者送迎は、今や多くの方にとって欠かせない通院手段となっています。しかし、この送迎費用は医療保険ではまかなわれず、各施設が自らの負担で続けている現状を御存じでしょうか。

日本透析医会が2023年に実施した調査では、回答のあった全国882施設のうち7割が送迎を実施し、通院患者の35%が利用していることが分かりました。

透析施設の主な収入源である診療報酬は年々引き下げられており、物価上昇や人手不足も重なる中、送迎サービスを維持することが限界に近づいています。調査では1人当たりの送迎費用は月平均2万4千円となり、全国では年間約350億円が送迎に充てられていると推計されています。

また、都道府県別の送迎実施には大きな差がみられました。和歌山県では100%が送迎を行っているのに対し、岡山県では0%となっていました。地域の交通事情や家族構成、県医師会の方針などがその背景にあるとされています。(「ぜんじんきょうニュースレター」より)

